令和２年度

# 小　論　文

# （60分）

短 期 大 学 部　　食 物 栄 養 学 科

**解答はすべて解答用紙に記入すること**

**注意事項**

１、試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開かないこと。

２、問題用紙は、表紙を含めて３ページである。

３、解答用紙は、２枚である。２枚とも解答すること。

４、受験番号・氏名は、監督者の指示に従って記入すること。

５、問題用紙の余白等は適宜使用してよい。

# 問　題（その１）

短期大学部　食物栄養学科

下記の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

ピンポン球　―　工業製品化した食べ物

「形も長さもいろいろあるはずなのに、どうして冷凍サトイモは、ピンポン球みたいにみんな同じ大きさなの？」

福岡県筑紫野市にある福祉施設の管理栄養士は、給食のサトイモを見て、ふと思った。一日三回、入所者四十人分の食事の準備が始まると、施設に二人しかいない調理師は作業に追われ、話をする(1)ヒマもない。六年前、特に人気の筑前煮の日は、サトイモをゆでて皮をむく下ごしらえだけで四十分かかり、休み時間が三十分も短くなるほどだった。

「便利で値段も安い。」管理栄養士が使い始めてから、冷凍サトイモは多忙な調理室に欠かせない存在になった。皮がむかれ、大きさも均一。切り分ける手間から解放され、直接鍋に放り込むだけになった。しかし、その由来を深く考えることはなかった。

十月中旬の中国・山東省。北九州市の商社に勤めるＭ崎は、(a)野菜の加工場を視察していた。従業員約二百人の工場では、冷凍サトイモがつくられていた。

サトイモの整形は三段階に分かれる。大まかに皮をむき、次にＵ字型の刃物で丸く削る。最後にドラム型の機械に入れて攪拌（かくはん）し、面取りをする。原料のサトイモは、ほとんどが細長いため、丸く削られるうちに作業台の周囲には、食べられるはずだった“白い残骸”が積み上がっていく。

Ｍ崎が商社の(b)輸入部門担当になった十五年前、冷凍サトイモは楕円形だった。給食食材を扱う取引業者が「丸くて同じ大きさなら、子どもたちも不平を言わず、(2)ハイゼンしやすい」と言いだしたことで、Ｍ崎も「他社と違いが出せる」と“丸さ”を追求するようになったという。

「サトイモを丸くするために、原料の約七割は削られる」（Ｍ崎）。年間千トンを生産するこの工場では、二千トン以上が野菜くずになる計算だ。一部は養豚業者に回されるが、残りは大地に掘った穴に埋められる。工場の若い女性従業員の月収は約九千円。その月給に(3)カンサンすると百人分超に相当するサトイモが「ごみ」として捨てられていく。

「従業員も『もったいない』と言っているが、丸くないと日本で売れないからねえ。」Ｍ崎は説明する。

西日本新聞社「食　くらし」取材班、西日本新聞ブックレット⑩　食卓の向こう側⑦より一部抜粋・改変
※許諾済

問１　本文中の＿＿＿を引いた語句 (1) (2) (3) のカタカナを漢字に、＿＿＿を引いた語句 (a) (b) を英単語（すべて小文字）にそれぞれ直しなさい。

問２　上記の文章を読み、あなた自身の考えを 400 字以内（句読点も 1 字に数える）で述べなさい。

# 問　題（その２）

短期大学部　食物栄養学科

下の表は、食育に関する意識調査において朝食を食べるために必要なことを調べたものである。この表を見て、次の問いに答えなさい。

（複数回答）

| | 該当者数 | 朝、食欲があること | 朝早く起きられること | 朝食を食べる習慣があること | 自分で朝食を用意する時間があること | 自分で朝食を用意する手間がかからないこと | 夜遅くまで残業するなど労働時間や環境に無理がないこと | 朝食を食べるメリットを知っていること | 夕食や夜食を食べすぎていないこと | 家に朝食が用意されていること | 外食やコンビニ等で手軽に朝食をとることができる環境があること | ダイエットの必要がないこと | その他 | わからない | 計(M.T.) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 〔全世代〕 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総数 | 295 | 42.7 | 40.3 | 38.3 | 37.3 | 32.2 | 17.6 | 10.8 | 10.5 | 10.2 | 5.4 | 3.7 | 3.4 | 1.4 | 253.9 |
| 〔性〕 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男性 | 148 | 43.9 | 43.9 | 37.8 | 30.4 | 31.1 | 21.6 | 9.5 | 10.1 | 12.2 | 8.8 | 4.1 | 2.0 | 2.0 | 257.4 |
| 女性 | 147 | 41.5 | 36.7 | 38.8 | 44.2 | 33.3 | 13.6 | 12.2 | 10.9 | 8.2 | 2.0 | 3.4 | 4.8 | 0.7 | 250.3 |
| 〔若い世代(20～39歳)〕 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総数 | 123 | 41.5 | 53.7 | 42.3 | 45.5 | 39.0 | 23.6 | 9.8 | 4.9 | 9.8 | 4.9 | 3.3 | 1.6 | 0.8 | 280.5 |
| 男性（20 ～ 39 歳） | 61 | 39.3 | 50.8 | 39.3 | 34.4 | 37.7 | 31.1 | 6.6 | 4.9 | 9.8 | 8.2 | 4.9 | 1.6 | 1.6 | 270.5 |
| 女性（20 ～ 39 歳） | 62 | 43.5 | 56.5 | 45.2 | 56.5 | 40.3 | 16.1 | 12.9 | 4.8 | 9.7 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | － | 290.3 |
| 〔性・年齢〕 | | | | | | | | | | | | | | | |
| （男性） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 ～ 29 歳 | 23 | 39.1 | 65.2 | 56.5 | 17.4 | 26.1 | 21.7 | － | 4.3 | 4.3 | － | 8.7 | 4.3 | － | 247.8 |
| 30 ～ 39 歳 | 38 | 39.5 | 42.1 | 28.9 | 44.7 | 44.7 | 36.8 | 10.5 | 5.3 | 13.2 | 13.2 | 2.6 | － | 2.6 | 284.2 |
| 40 ～ 49 歳 | 45 | 42.2 | 48.9 | 40.0 | 24.4 | 31.1 | 11.1 | 11.1 | 11.1 | 15.6 | 15.6 | 4.4 | 2.2 | 2.2 | 260.0 |
| 50 ～ 59 歳 | 18 | 55.6 | 44.4 | 44.4 | 33.3 | 27.8 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | 11.1 | 5.6 | 5.6 | － | － | 277.8 |
| 60 ～ 69 歳 | 12 | 50.0 | 16.7 | 16.7 | 50.0 | 16.7 | 33.3 | 16.7 | 25.0 | 8.3 | － | － | － | － | 233.3 |
| 70 歳以上 | 12 | 50.0 | 16.7 | 33.3 | 8.3 | 16.7 | 8.3 | － | 8.3 | 16.7 | － | － | 8.3 | 8.3 | 175.0 |
| （女性） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 ～ 29 歳 | 33 | 54.5 | 60.6 | 39.4 | 48.5 | 36.4 | 9.1 | 12.1 | 6.1 | 9.1 | 3.0 | 3.0 | － | － | 281.8 |
| 30 ～ 39 歳 | 29 | 31.0 | 51.7 | 51.7 | 65.5 | 44.8 | 24.1 | 13.8 | 3.4 | 10.3 | － | － | 3.4 | － | 300.0 |
| 40 ～ 49 歳 | 36 | 38.9 | 30.6 | 38.9 | 55.6 | 36.1 | 13.9 | 11.1 | 19.4 | 8.3 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | － | 261.1 |
| 50 ～ 59 歳 | 23 | 43.5 | 17.4 | 34.8 | 17.4 | 21.7 | 17.4 | 13.0 | 8.7 | － | － | 8.7 | 8.7 | － | 191.3 |
| 60 ～ 69 歳 | 19 | 42.1 | 15.8 | 36.8 | 31.6 | 21.1 | 5.3 | 15.8 | 15.8 | 10.5 | － | 5.3 | 10.5 | 5.3 | 215.8 |
| 70 歳以上 | 7 | 28.6 | 14.3 | － | － | 28.6 | － | － | 14.3 | 14.3 | 14.3 | － | 14.3 | － | 128.6 |

食育に関する意識調査報告書（平成 30 年 3 月　農林水産省）から引用

注：M.T. は複数回答において回答数の合計を回答者数で割った比率

問 1　全世代において、朝食を食べるために必要なことで最も割合が高い項目を答えなさい。

問 2　性別データにおいて、男性と女性で割合の差が最も開いた項目を答えなさい。

問 3　若い世代（20 ～ 39 歳）の女性（20 ～ 39 歳）において、3 番目に割合が高い項目を答えなさい。

問 4　性・年齢別データにおいて、「朝早く起きられること」を重視する人の割合（%）が最も高い性別とその年齢帯を答えなさい。

問 5　あなたが朝食を食べるために必要なことを調べるとします。上の表に示した項目以外に新たに項目を一つ挙げて下さい。新たに加えた項目とその理由を 100 字以内（句読点も 1 字に数える）で述べなさい。